

国内クレジット認証委員会御中

## 実績確認概要書

平成 23 年 11 月 18 日

審査機関名 一般財団法人 日本品質保証機構

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	温泉熱を利用した温熱供給システムと排熱回収ヒートポンプ冷暖房システムによる省エネルギー事業
承認番号	JCDM-PJ0009
排出削減事業者名	株式会社 阿寒グランドホテル
排出削減共同実施事業者名	北海道電力株式会社
事業実施場所	あかん遊久の里 鶴雅 (北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉 4 丁目 6 番 10 号) あかん鶴雅別荘 鄙の座 (北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉 2 丁目 8 番 1 号)
事業の概要	温泉熱の段階的な熱回収及びヒートポンプの総合利用により、重油消費量を削減する。
排出削減量の計画	1,770tCO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計 7,080tCO <sub>2</sub> )
国内クレジット認証期間	開始予定日 2009 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 002 ヒートポンプの導入 方法論番号 009 温泉熱及び温泉排熱のエネルギー利用

### 2. 本実績確認の対象期間

2009 年 8 月 1 日～2011 年 3 月 31 日 (第 2 回目実績報告)

### 3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量（**3,256t-CO2**）は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 2 回目のため該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 排出削減事業関係者への質問やイーモニター測定記録、温泉メーター表（目視確認記録）、浴槽温度管理書等を確認した結果、導入設備は実績報告期間において稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 排出削減事業関係者への質問やイーモニター測定記録、温泉メーター表（目視確認記録）、浴槽温度管理書等を確認した結果、一部のモニタリング方法については、承認削減計画から変更箇所があったが、当該変更内容は制度事務局への確認により適切であり、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 排出削減事業関係者への質問やイーモニター測定記録、温泉メーター表（目視確認記録）、集計表等を確認した結果、適切に維持管理された計測機器により活動量の計測が適切に行われ、エネルギー使用量その他の計測値の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減事業関係者への質問やイーモニター測定記録、温泉メーター表（目視確認記録）、浴槽温度管理書等を確認した結

	<p>果、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>排出削減量の算定結果を測定結果と突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。</p>
<p>算定結果が2013年3月31日を超えないこと</p>	<p>今回の検証対象期間は平成21年8月1日から平成23年3月31日までであり、排出削減量を算定した期間が平成25年3月31日を超えていないことを確認した。</p>

#### 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。なお、計画段階から以下の変更を確認した。

- ・ ボイラ効率のモニタリング方法を実測からカタログ値の採用に変更  
⇒ 前回と同様である。
- ・ その他関連事業者から「北電総合設計株式会社」を削除  
⇒ 排出削減量に影響を及ぼすことはなく、本変更を軽微と判断した。

#### 6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 1,127.4kL であることを確認した。また、再生可能エネルギー利用量として、原油換算 1,061.8kL であることを確認した。

以 上